

課題に対する基本方針の検討

国土交通省九州地方整備局

川内川河川事務所

課題に対する基本方針 (1 / 2)

課題 (A: 避難計画の不備)	基本方針 (A: 避難計画の拡充)
<ul style="list-style-type: none"> ①ハザードマップの作成・利用が不十分 ②自主防災組織の水害時活動が不十分 ③災害時要援護者の避難対策が不十分 ④指定避難所利用率の低さ ⑤避難時自動車利用率の高さ ⑥避難所・避難経路の浸水 ⑦避難時の住民対応範囲が曖昧 ⑧地域孤立化 	<ul style="list-style-type: none"> ①ハザードマップ作成支援 (①) ②避難計画・施設の再検討 (④、⑤、⑥) (避難所・避難経路検討、自動車利用、避難所利用) ③災害時要援護者の避難対策の立案 (③) ④水害時住民行動マニュアルの作成 (①、②、⑦) ⑤地域孤立化防止対策の検討 (⑧)
課題 (B: 水害の危険性に関する認識不足)	基本方針 (B: 水害の危険性に関する認識向上)
<ul style="list-style-type: none"> ①水害危険性の認識不足 ②未避難(避難の遅れ) ③浸水常襲地区での宅地開発 	<ul style="list-style-type: none"> ①水害危険性の認識向上・水防用語等の習得 (①、②) (治水安全度の説明、ハザードマップ熟知、 防災訓練・勉強会、水害知識習得) ②浸水地区の土地利用規制等の検討 (③) ③浸水に強い建築構造導入の検討 (③)

課題に対する基本方針 (2/2)

課題 (C:洪水時の情報提供・伝達の不足)	基本方針 (C:洪水時の情報提供・伝達機能の向上)
①収集した情報の有効利用が困難	①わかりやすく精度の高い情報提供(①、②、③)
②現地の浸水・被災情報の不足	②地域コミュニティの活用(③)
③住民への情報伝達が不十分	(自治会・公民会単位での行動)
	③水防情報の一元化(①)
課題 (D:避難勧告・指示発令の遅れ)	基本方針 (D:避難勧告・指示発令の迅速化)
①発令の遅延	①避難勧告発令基準の再検討(①、②)
②発令判断に資する情報不足	②収集情報の発令判断への活用(②)
課題 (E:水防・救助体制の不備)	基本方針 (E:水防・救助体制の強化)
①水防・救助用の資材不足	①水防資機材の備蓄・効率的活用(①)
②水防、救助活動における二次災害の危険性	②重要水防箇所の情報提供(①、②)
③救助用具等の操作不案内	③ボランティアの受け入れ体制の確立(②)
	④消防団等との連携による各家庭での浸水軽減活動(②、③)

B

水害の危険性に関する認識向上

基本方針

①

水害危険性の認識向上・水防用語等の習得

②

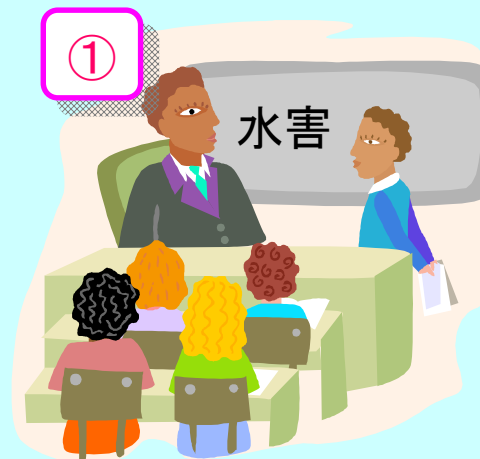
浸水地区の土地利用規制等の検討

③

浸水に強い建築構造導入の検討

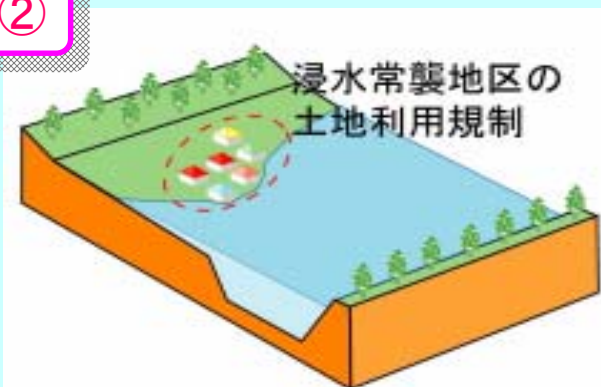
基本方針イメージ

①



勉強会、講演会等の開催

②



浸水常襲地区への土地利用規制

C

洪水時の情報提供・伝達機能の向上

基本方針

①

わかりやすく精度の高い情報提供

②

地域コミュニティの活用
(自治会・公民会単位での行動)

③

水防情報の一元化

基本方針イメージ

①



水位のレベル表示

②



地域コミュニティの活用

D

避難勧告・指示発令の迅速化

基本方針

①

避難勧告発令基準の再検討

②

収集情報の発令判断への活用

基本方針イメージ

②



浸水モニター制度

E

水防・救助体制の強化

基本方針

①

水防資機材の備蓄・効率的活用

②

重要水防箇所の情報提供

③

ボランティアの受け入れ体制の確立

④

消防団等との連携による各家庭での浸水軽減活動

基本方針イメージ

①



防災ステーション

③



ボランティア受付窓口

④

